

「地域」がキーワード — 視察報告 —

●認知症予防対策—名古屋市(7/14)

昨年度から取り組みが開始された、国立長寿医療研究センターとの共同でおこなわれている「地域における身近な認知症予防対策事業」。脳とからだの健康チェック(写真)を全戸に配布し、健康における意識向上とスクリーニングのための高齢者機能健診を実施。この健診にて、軽度から中等度の認知機能低下を示す高齢者を対象に、コミュニティプログラムや



健康講座をおこないながら、認知症予防に何が効果的かの検証と、地域内でのコミュニティの創出が進められています。検証結果は再来年度に出される予定です。

◀全戸に郵送された「脳とからだの健康チェック」パンフレット

●地域提案制度—伊丹市(7/15)

道路補修や通学路の安全対策(カーブミラー設置・歩道を色分けして舗装)など、市が地域住民から提案を受け、安全・安心に係る環境整備を実施する本事業は、全17小学校区にそれぞれ上限600万円の予算がつき、昨年度7月から実施されています。行政職員をコミュニティ推進員として各校区に配置し、地域を主役に、地域の声に基づいている点が「行政」と「地域」の信頼関係につながっていました。



▲公園で遊ぶ子ども・保護者からの提案で設置されたソーラー電池式時計



▲花壇の管理が大変との要望で設置された自動散水栓

INFORMATION

区民アンケート実施中

区議団では、区民の皆さんの声を区政へいかすため、区民アンケートを実施しています。その声ももとに、毎年、予算要望書としてまとめ、区長へ提出しています。一昨年は1200名を超える皆さんからご回答をいただきました。皆様のご協力、よろしくお願ひ致します。



▶皆さんの声をまとめた予算要望書

区議会定例会のお知らせ(予定)

9月11日(木)～10月15日(水)

区議会定例会が9月11日から始まります。今議会では、私も本会議質問にたつ予定です。皆さんの声が届き、いきる区政へ、引き続き、全力で取り組みます。

※区役所3階、区議会事務局にて手続きをおこなえば、どなたでも傍聴できます。ぜひ、お出かけ下さい。

- 本会議：9月11日(木)・12日(金)・16日(火)・10月3日(金)・15日(水)
- 決算特別委員会：9月17日(水)・19日(金)・22日(月)・24日(水)・25日(木)・10月2日(木)
- 決算分科会：9月26日(金)・29日(月)・30日(火)
- 常任委員会：10月7日(火)・8日(水)・9日(木)
- 特別委員会：10月10日(金)

地域のこと、身近なお困りごとなど、お気軽にご相談下さい。
弁護士をはじめ、各専門家などと連携しながら、解決に力を尽くします。



日本共産党
中野区議会議員

浦野さとみの区政報告 No. 48

ほっこり通信

何でも無料生活相談実施中!

●e-mail: urano@jcp-seven.jp

●携帯電話: 090-8049-4784

●ホームページ

浦野さとみ 検索

●Twitter: @urano_satomi

●Facebook: 浦野さとみ

聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



69年目の夏

7月1日、憲法の解釈を変更して、集団的自衛権行使を認める閣議決定がおこなわれました。国会論戦でも明らかになったように、集団的自衛権とは、日本が武力攻撃をされていなくても同盟国のために、自衛隊が海外で武力行使をすることを可能にするものです。内閣の判断で憲法の解釈を見直すこと自体、立憲主義を否定するものです。だからこそ、憲法の改正が必要と言う立場の方たちが、自らの問題として声をあげ、「戦争する国にさせない」「憲法を守れ」など、首相官邸や全国各地で抗議の声をあげ続けています。戦後69年目の夏。平和への誓いをあらたに、多くの皆さんと一緒にいまこそ、声を大きく。

集団的自衛権行使を容認する閣議決定の撤回を求める意見書

集団的自衛権行使の容認について、全国の200を超える自治体で、「慎重」もしくは「反対」を求める意見書が採択されています。中野区議会においても、区議会定例会の最終日本会議(7月11日)で議員提出議案として意見書を提出。自民党・公明党・みんなの党・無所属区議1名の反対で否決となりましたが、日本共産党・民主党、無所属区議6名が賛成しました(賛成16、反対25)。議会終了後の夕方、中野駅北口にて、同意見書へ賛成した区議を中心に超党派での街頭宣伝をおこないました。飛び入りで、区民の皆さんの参加もありました。



▲7/11中野駅北口での街頭宣伝の様子

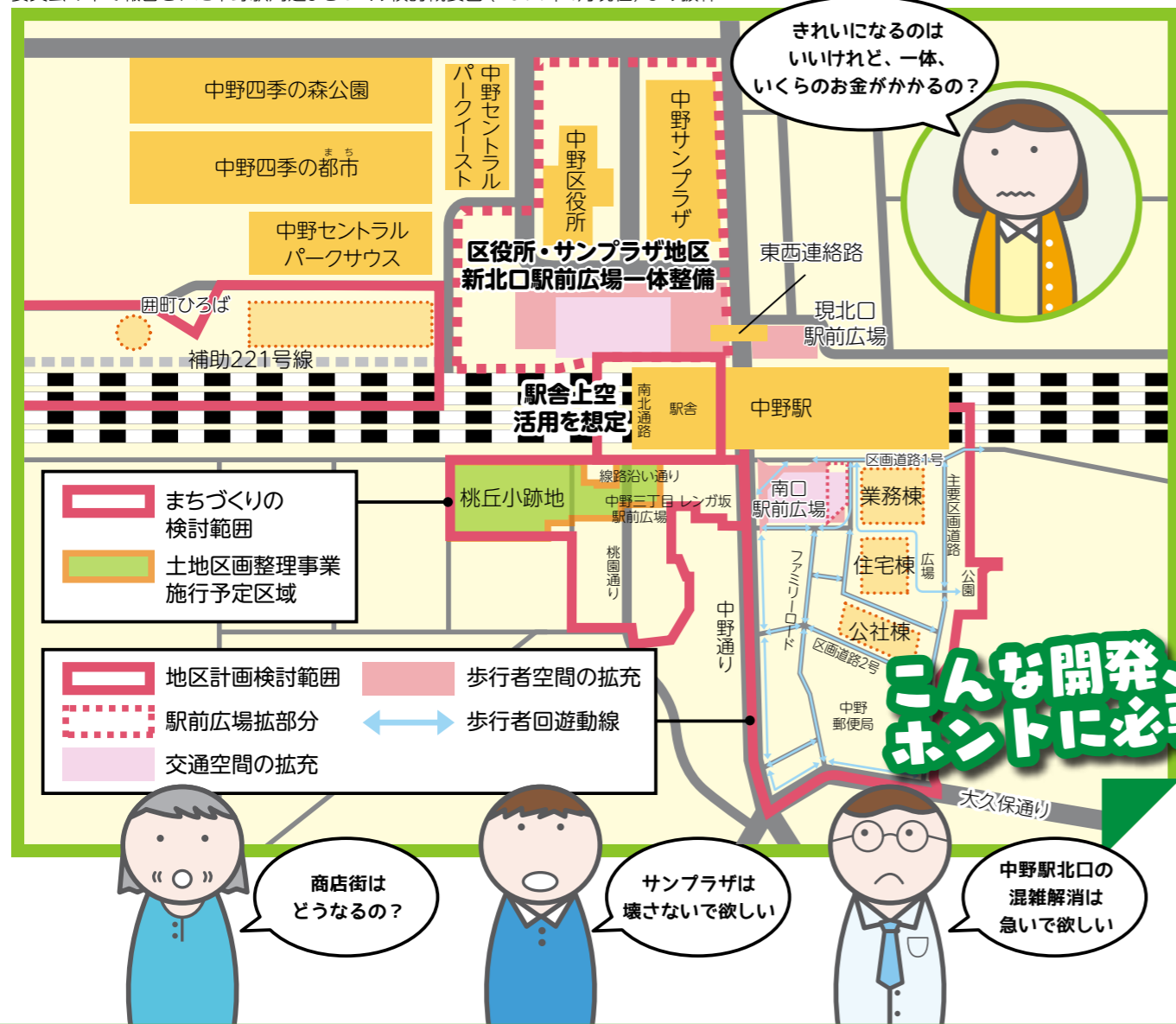
ご存じですか？

中野駅周辺のまちづくり計画

中野駅周辺が大きく変わろうとしています。駅ビル・南北通路・西口橋上駅舎建設、区役所・サンプラザを壊しての再開発、南口も大規模な開発が計画されています。しかし、これだけの計画をどれだけの区民の方が知っているのでしょうか。東京でのオリンピック開催が決まり、建設資材が高騰しています。区民サービスを後退させておきながら、駅周辺まちづくりの総費用は未だ、明らかにされていません。近隣の商店街への影響も懸念されて

います。区役所は昨年、一昨年と耐震補強工事をおこない、サンプラザも耐震性は確保されています。一方で、現在の中野駅北口改札の安全確保は急務であり、これまでも、旧北口改札部分(現在、店舗が入っている部分)の開放などを求めてきました。区は今後、国が進める【国家戦略特区】の指定を受ける方向で名乗りをあげ、中野区を国際的ビジネスの拠点として推進していくとしています。

委員会の中で報告された中野駅周辺まちづくり検討概要図(2014年4月現在)より抜粋



中野区は石巻市をはじめ複数の被災自治体に職員を派遣し、復興支援業務を継続しています。7月17日・18日の2日間、宮城県石巻市内の仮設団地へ第6次となる支援へうかがいしました。これまで以上に、支援物資や支援金をお寄せいただきました。あたたかいご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

支援物資バザーの開催、劇団「じゃけん」さんによるお芝居上演、支援募金にて2カ所の仮設団地(役場前団地と蛇田中央団地)全145世帯分の物資を購入し、直接、お届けしました。

石巻市内、復興公営住宅の建設は4000戸が計画されていますが、これ

から設計着手というところもあり、入居開始となっているのは、わずか150戸のみです。「東京でのオリンピック開催が先か、公営住宅への入居が先か。」というのが、仮設団地内の皆さんの声になっていました。また、「もう、(マスクや被災地支援など)外からは、ここに人が来ない。被災地のことが忘れられているように感じます。」と自治会長さん。政治の役割が求められ続けています。

東日本大震災から3年4ヵ月。被災地の皆さんが、心から安心できる生活に戻ることができるまで、色々な形で支援を続けていきます。



▲支援物資(衣類や日用品など)でバザーを開催



▲劇団「じゃけん」さんによるお芝居上演



▲2カ所の仮設団地全世帯にお届けした物資(米2kg・醤油・ティッシュ・トイレットペーパー・手作りタオル)



▲今回参加したボランティア14名と仮設 蛇田中央団地の自治会長さん



これからも支援を継続していきます。

物資・募金へのご協力、本当にありがとうございました

第6次東北被災地支援

就学援助 区民の声と党区議団の要求実る

昨年の生活保護基準の引き下げに伴い、今年度、就学援助の支給認定から対象外となってしまった児童生徒は区内で145人に及びました。都内で対応をとらなかったのは中野区だけでした。党区議団として、先の区議会本会議で、あらためて対応を求めたところ、「必要な手立てを講じることを検討していく」との前向きな答弁があり、その後

の委員会において、新入学学用品費(定額支給)、修学旅行費・移動教室費・校外活動費・校内鑑賞教室・卒業アルバム代(実費支給)が支給されることになりました。粘り強い区民の声と党区議団の要求が実りました。引き続き、皆さんの声を力に、基準引き上げや支給費目の拡充、教育にかかる保護者負担の軽減に取り組んでいきます。

MEMO
就学援助制度とは…
経済的理由によって義務教育を受けることが困難と認められる児童・生徒の保護者に対して学校生活に必要な経費の援助をおこなう制度。支給基準や支給対象費目は自治体によってそれぞれ定められています。